

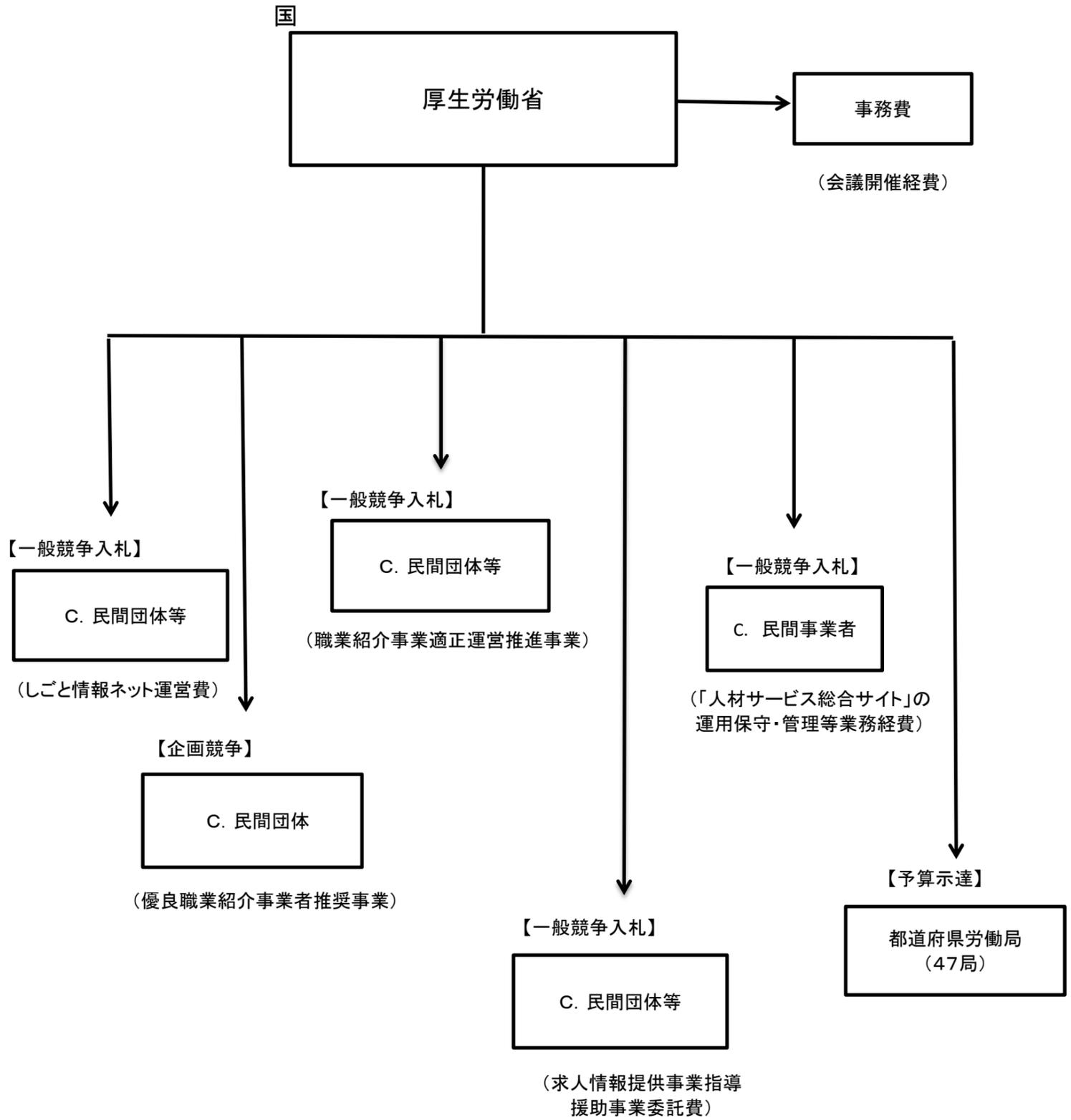
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	人材サービス関連情報提供等事業	担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	需給調整事業課	需給調整事業課長 富田 望			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	政策・施策名	IV-1-1 公共職業安定機関等における需給調整機能の強化及び労働者派遣事業等の適正な運営を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	労働力需給調整市場に適正かつ信頼できる求人情報や職業紹介事業及び労働者派遣事業の許可・届出事業者情報を提供するとともに、職業紹介事業者の適正な事業運営の推進を行うこと等により、雇用のマッチング機能を強化し、労働者の雇用の安定を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①官民連携した雇用情報システムである「しごと情報ネット」の運営 ②優良な職業紹介事業者を推奨するための行動基準の検討等 ③職業紹介事業者の適正な事業運営を推進するためのセミナーの開催や相談援助等の実施 ④求人情報誌、インターネットサイト等で求人情報を提供する民間求人情報提供事業者に対し、求人情報の適正化のための指導・援助の実施 ⑤労働力需給調整制度に関する専用サイト「人材サービス総合サイト」を稼働し、許可・届出事業者一覧をはじめ、労働力需給調整制度の周知や最新のお知らせ等の情報提供の実施						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	/	/	/	117	45
		補正予算	/	/	/	/	/
		繰越し等	/	/	/	/	/
		計	/	/	/	117	45
		執行額	/	/	/	/	/
	執行率(%)	/	/	/	/	/	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	しごと情報ネット利用者に調査を実施し、しごと情報ネットを通じて求人情報に応募等を行った割合 35%以上	成果実績		-	-	-	35%
		達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	① しごと情報ネット参加機関数 12,000機関以上 ② 人材サービス総合サイトのホームページへの年度内アクセス件数 50万件以上	活動実績		-	-	-	-
		(当初見込み)		( )	( )	( )	( )
単位当たりコスト	-	算出根拠		-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.6	0.6				
	職員旅費	2	0				
	委員等旅費	0.1	0				
	庁費	12	0.1				
	委託費	102	44.4				
	計	116.7	45.1				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	厳しい雇用情勢の中で、早期の再就職等労働者の雇用の安定を図ることは必要な課題であるため、国費を投入して実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	官民連携した雇用情報システムである「しごと情報ネット」の運営などを実施するには、中立性・公平性が求められることから、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	厳しい雇用情勢の中で、民間の労働力需給調整機能を適正かつ円滑に運営させることにより、求職者の雇用機会の確保、雇用の安定を実現させることは重要な課題となっており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を導入し、競争性の確保に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	一般競争入札を導入するなど、コスト削減を念頭におき本事業を実施しており、その水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	国費投入の必要性や事業の効率性において、事業の必要性やコスト水準の妥当性に努めており、特に問題はない。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—	インターネットによる求人募集の増加が見込まれる状況のもとで、求人募集広告に係る情報が適正に提供されること等を目的に、民間求人情報提供事業者に対する求人情報の適正化のための指導・援助等を実施するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-0065

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)





支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					